

高出地区タウンミーティング議事録(要旨)

○日時 2025/11/6 19:00～20:00ごろ

○場所 高出地区センター

○参加者 17人

○説明者 市長、企画政策部長、市民地域部長、交流文化部長、建設部長

○議事録(要旨)

※個人情報や個人が特定される内容などは省略しています。

市長

本日は1日のお疲れのところ、タウンミーティングを開催して、多くの皆様にご参加をいただきまして誠にありがとうございます。今年は何か朝晩は秋がなくて、突然冬が来てしまった、そんな陽気でございます。健康には気をつけてお過ごしいただければと思っております。今日のタウンミーティングですけれども、私から10分ちょっとお時間をいただきまして、高出地区の現況や市の財政のお話をしたいと思っております。その後ですね、区長の皆さんからいただいた意見を話した後、皆さんとやりとりをしていきたいと思います。ぜひとも直球を投げただけければ、私も投げ返しやすいですので、包み隠さず、思いの丈を遠慮しないでお話をいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

※(省略)高出地区の説明(別添資料)

※(省略)令和8年度予算編成方針について説明(別添資料)

駆け足で状況をお話いたしました。そして、区長さんからいただいている事項がございます。都市化が進む高出の競争、循環の進め方ということで、市の計画の中でも共創循環、共同参画というのを謳っております。まず一つ目が、高出は高齢化率が低く、若い人が多い地区で、人口も横ばいの未来ある地域と考えている。

しかしながら、区の加入率が低い。また、自治会活動、特に役員決め等に苦勞をしている。区に入っていない世帯に声かけをすることができない状況を解消していくにはどうしたら良いかが一つあります。私どもも区への加入がどういうふうに進んでいくか、そこ

は、大きな課題だと捉えております。

そして、この区の加入とごみの収集がセットになっている。そこが、今特に高出地区でも大きな課題になっていると思っています。今、区長さん方ともお話をしながら進めておりますけれども、今年度中に市としてごみステーションの利用、特に区に入っていない方に対して、ごみステーションをどういったふうにしていくか、課題を解決する案を今作成しておりますので、それに応じていきたいと思っております。全国的な問題でありまして、実は全国的に裁判にもなっているような状況でありますけれども、いろいろなパターンがあります。もうごみ出しを一切認めない、またお金だけもらってごみステーションを使えるようにしている、そういったさまざまな地域がありますので、地域の実情を見ながら、市としてきちんとした方針をお示しして、それが盾となって、区の方で使えるような仕組みにしていきたいと思っています。区の役員の皆様方のごみを担当する衛生の方とか、そこには非常に気をもんでいることは理解をしておりますので、そういうことを進めていきたいと思っております。区の加入率の低迷等もありますけれども、高出地区は人口を見ますと、人からは選ばれている地域でありますし、アンケートとかとっても、やっぱり住みやすさ、それは非常に強いと思っております。

特に、体育館、文教施設、中央スポーツ公園とか、高校も2校あって集積している。都市と、畑も周辺にあって非常にバランスがとれている地域でありますので、そういった地区のまちづくりを進めていきたいと思っております。そして、もう一つ、アパートの管理会社が管理をしていて、昔は大家さんが近所にいて大家さんに話をすれば解決できていたというのがなかなか解決できないというのをいただいておりますので、私どももアパートの管理会社とも連携を密にとっていく必要があるかと思っております。いろいろな仲介事業者がありますけれども、そういった皆さんと連携をとるようにしていきたいと思えます。今、アパートそのものでごみを集めているようなアパートも増えております。

地区、地域との関わりは非常に大事であります。ここは今回要望をいただきまして、私ども力を入れて進めていかなければならない、そういう課題だと認識をしております。そして、もう一つが市営球場の対応でありますけれども、私自身も市営球場は今のまま高出地区で球場として残していくことは非常に難しいと思っております。

ただ、次どうするかというところはまだ明確にお示しをしてできておりません。あそこ

を住宅にすればいいとか、こんな使い方をしてほしいとか、いろいろな意見があると思いますけれども、そういったところをまとめていく作業を、まずは市営球場について話し合いもしっかりとしていきながら進めていきたいと思っております。

どれくらいの時期にできるかというのを聞かれていますけども、なかなかまだ時期というのは明確にお示しをすることができません。まずは、今あそこを使っている皆さんがどこかで野球をできる環境をきちんと整えなければならないのもやらなきゃいけない、そこも大事なことだと思っておりますが、今の球場は今の球場として使うことは非常に難しく、違う土地利用をした方がこれは高出地区のプラスにもなっていくと思います。

市のプラスになっていくと考えております。そして、もう一つ道路事情、東通り線や高原通り線の今後5年間の予定を聞いておりますが、こちらは建設部長いますので、建設部長の方からお話をいたします。

建設部長

高出の道路、具体的に東通り線、高原通り線の5年間の計画ということでご質問がありました。高原通り線、市道野村大門線になりますけれども、この部分は歯科大から緑ヶ丘交差点までの信号機までは片側でも歩道が整備されているんですけれども、そこから九里巾の交差点までは全く歩道がないような状況で、かなり幅員も狭く苦慮しています。部分的に土地を協力できる方がいまして、その部分については、もう既に部分的には整備していますけれども、特に、ふれあいセンター広丘前の交差点のところの部分がだいぶ幅員が狭くて一番混雑しているような状況も見受けられますので、その部分について、今現在、土地を協力いただけないかということで、用地交渉を市で行っております。合意形成できた段階では、その部分に手をつけたいと進めております。また、歯科大の交差点からガソリンスタンドのところ、広陵中の方へ抜けている道を今2車線の道路を確保して、歩道付きの道路で整備を進めており、そちらがたぶん2年から3年くらいかかると思います。それが整備できれば、渋滞の部分についてはそちらの方へ交通を逃がすことができると思いますので、そんなことを合わせながら進めていきたいと考えております。また、都市計画道路の東通り線ですけれども、今、ぜんしん体育館のところまで広げてきておりますので、とりあえずはアルプスの倉庫のある交差点までを令和8年度から設計を始めまして、

以降、用地交渉なり土地を確保しまして、拡幅整備を進めたいと考えているところでございます。

市長

道路の関係のお話はいたしました。高出もちょうど分区して 20 周年を迎えまして、今年もふれあい祭りも記念して行われたりもしておりますが、まだまだ区長さんにかかる負荷も非常に多いと思っていますし、区長さんの仕事は減らしていますけども、社協の関係であったりさまざまな仕事、区の仕事としてもっと連携をとれば、解決できることはあるかと思っております。そういうところも、まだまだ変えていかないと、なかなか区の役員のなり手というのが見つかってこない状況になろうかと思っております。簡単と言いますか、時間の都合でばっとお話しさせていただきましたけども、区長さん方で、まずはこのいただいた件に関して要望とか追加がございましたらお願いいたします。

市民

プロジェクターを使って話させてもらいます。いつも高出五区が問題になりまして。みどりが丘住宅の辺りです。高出五区は、非常に広いように見えるんですが、実は工場地帯で工場がすごい多いんですよ。こっちに工場があって、ここは日産とツルヤがあって、このところは諏訪倉庫とか、しおじり会館があります。この狭い間、ワールドのところで、高原通りとふれあいセンター広丘のこの中にほとんどの方が住んでいます。この中でほしい全部で 650 世帯くらいあるんですけども、600 世帯くらいあるんじゃないかと。ここは非常に少ないです、住んでいる人は。

私、この中にアパートがどの程度あるか調べたんです。この高出五区の中にマンション、アパートが大体 40 棟あります。その方たちとほとんど交流もないのですから。あと調べて、区の方では、区に入ってなくても、ごみ処理してなくても、アパート協力金みたいなのをいただく形になっていますから、これ電話かけていただこうと思っているんです。そういう関係で、さきほど建設部長が言われたこの道が、ものすごい朝から混みまして。みどりが丘西信号とふれあいセンター広丘、ここは朝がずーっと詰まります。もう一つ、雨が降るとこの道が川のように流れます。区長の LINE があるんですけど、夜中でも浸水し

たって LINE がバンバン来ます。その関係で大変で、今回いい機会なんで、防災マップができたのを、高出五区の電子掲示板に載つけました。ものすごい良いと思います。

もう一つ写真の方を出していただきたいと思いますが、ごみステーションの。今回このタウンミーティングがあったんで、ごみステーションを全部調べました。1組から9組まで。

1組には2つあるんです。1組は、この区に入った方のごみステーションが、ここは個人の土地に建ってまして、この個人の土地が売れたら移さなければいけないと思っています。これが大体これだけで30万ぐらいかかる。ですから、ごみ出す方が各区3万ぐらい負担したって聞いている。

次に2組のごみステーションも土地がないので、こちらの方はここに家があります。ここ普通の家なんです。玄関の横に、どうしても場所がないので、ご協力していただいて、これで45万ぐらいかかっているでしょうね。それも市の補助だけではダメで、多分ごみを出している方は負担してると聞いている。

3組ここは、ごみステーション、ここに実はアパートがありましてですね、このアパートの方は区費払っていないんですけど、アパートの土地の駐車場にごみステーションを置くという形で、ごみを出していることを聞きました。

次は4組。4組は、ここの新しい住宅ができた時にここの地主さんが、地主さんの土地だったんですけど、ここを市に寄付して市道にして市から借りています。4組はここにこのマンション、アパートがあるんですよ。アパートがこの周りに4件建ってまして。その中のアパートじゃない、大家さんの駐車場があります。これはですね、私も見つけられなかったんですけど、ゴミの集積所って表示が何もないんですよ。ってことは出している人が多いんじゃないかと思っています。この新しい住宅の時に、このスーパー。4組は昔、組が一つありまして、どうしても場所がないもんですから、この間のここに住宅が新しくできたら、その間に作ってあります。

5組は、どうしても場所がないもんですから、ここの道路に出しているみたいです。それで、ここにアパートがありまして、このアパートにごみの道具を置いてありますから、このアパートの人は出していいという形で、ごみを出していると聞きました。

6組も同様に、出すところがないんですけど、道路の端っくに道具置きだけ作りまし

て、道路に出しています。で、6組にはもう一つありまして、これは上部な地区のあの辺ですけど、ここに昔の組がありまして、普通の家なんですけど、そこに何とか頼み込んで作ってあります。

7組はこれ開発された緑地に建っていますから、あんまり問題にならないんです。あと、7組3つあるんですけど、4つ建ってまして、これは警察官舎のところですよ。で、今回調べて分かったのは、皆さんものすごく苦労してるんですよ。あのゴミステーションの総論では、皆さん必要だというんですが、各論で、じゃお宅の土地貸して置かせてくださいと言うと、皆さんバツになりますから、絶対いいって言わないですから、ものすごい苦労をして駐車場を借りて、その代わりこのアパートはいいですよという形で、そういう形で区費払わなくてもいいですよという形なのか、何とか空いているところか道にやるか。そういう形で苦労しているので、市で決める時もお金だけだというのは、さっきのこの人たちはこのアパートの人どうしてるんですかと、ここは掃除することを条件に出していいということになっていることです。掃除することとかですね、多分お金だけじゃないかというのがあります。

ただ、さっきの1組2組で話したとおり、ゴミステーションは、30万ぐらいかかりますから、それは出している人が10人で1世帯3万円負担したとか言っていますから、そういうところはお金かなと思います。そこは非常に難しい問題で、その辺を絡めてですね、うまくやっていただかないと揉めちゃうと思うんですよ。この道のところでお金出せって多分言えないと。さっきのこの5組みたいなところで、ゴミ出すのに金出せというのがちょっと言えない。そういうところは掃除か何かで、そういう風にしていかないとですね、一概にお金払えっていうのがなかなか難しいんじゃないかと思うんですけど。その辺は考慮していただいて、手法を決めていただきたいと思うんですけど。

市長

はい、わかりました。色々調べていただきまして、また地域の実情、区の加入率やごみのところもきれいに調べていただきました。ありがとうございます。ごみの収集場所って、やっぱり地域の皆さんの協力の上に成り立っておりますし、今おっしゃった通りをお金を払って建てているのに、そこに区にも加入しなくて、何も払わずにごみ出すのがやは

りいかなものかと、そういうご意見がかなりありますので、そこをどういうふうにつないでいくかは大きな課題でありますし、今ある程度そこをどういうふうに解決するかを研究しているところであります。極論を言いますと、一つ一つの集積所ごとに、その成り立ちとか、こっちが例えばアパートの人は出していいとか、そういうようないろいろがありますけれども、一つ一つのそういうケースを見ながら、市としてはこういう方針でいきますっていうところは明確に謳わないと、今度、区長の皆さんが迷ってしまうと思いますので、うちの市はこういう方針だからって言えるような、そういう形のものを仕上げていきたいと思っています。

市民

組長さんなり衛生の方と話し合っていて、何がいいのか区でも一概に決められないものですから、お金という形で。そういうのを。あとアパートの管理会社と話していただいて、区に協力してほしいというのを何とか言っていただきたいと思います。

市長

わかりました。アパートの管理会社とかも話をして区に協力をすると、今度お金だけ払えばよくて区に入らないとか、そういうのがまた加速してしまうような心配もあったりして。ここはさじ加減がすごく難しい取り組みだとは思いますが、そこが解決しないと、今度逆に区の運営が困っていくことはわかっていますので、今日はいろいろな実情をお話いただきましたので、高出五区は工業地帯ありスーパーありで、住宅もある。アパートもあり、多様に富んだところでありますので、またいろいろと細かい話を伺っていきながら、市としての方針を決めていきたいと思っています。ありがとうございます。

市民

自宅はこの東通り沿いでお店を高原通りの方でやっています。犬を飼い始めて非常に気が付いたことがありますて、道路の管理状況についてなんですけども、実はここの通りも見てみると、東側と西側では景色が違います。何が違うかっていうと、道路の際に生えている草です。高原道路もそうなんですけども、その草の処理って誰がするのかなってい

うことがあんまりはっきりしてないんだと思います。で、おそらくこちら側の東側は昔からあるお家も多いので、ご自宅の前は責任を持ってやられていると思うんですけども、高原通りの方に至っては、商店の前の駐車場ですとか、そういったところにも結構な雑草が生えていますし、またその境の歩道沿いにも雑草が生えていますね。一番残念なのはこの地区センターの周りです。お宮からのヒノキの落ち葉が落ちて堆積していますし、こっち側もうエノコログサがぼうぼう生えているような状態です。こういった部分の管理というのは、誰がどのようにするべきだというふうに市の方ではお考えでしょうか。

市長

道路の草の管理であります、今年のような気候ですと、非常に草の勢いが強くて。市には道路上の草の管理に関して多くのお声を、お叱りのお声を今年たくさんいただきました。道路管理者が、道路の草は管理するのが基本でありますけれども、今、実はシルバー人材センターとかにもお願いをして管理しているんですが、シルバー人材センターも定年延長等の影響で人手不足になっておりまして、なかなか全てにお応えしていただける状況がございません。私どもの甘い考えの理想形ですと、やはり家の前の道路のところは皆さんの力できれいにしていただくのが、一番まちがきれいになる、そういうところありますので、もしそういうお気持ちできれいにしていく部分と、市もきちんと管理をしていかなければならないんですけども、全てが今こういうやりきれない状況になっております。

できるところからですね、きちんとやっていきたいと思っていますけれども、そういうご事情をいただきながら、市民の皆さんの力を借りてですね、きれいな道路環境をつくっていきたいと思っておりますが、ご理解よろしく願いいたします。

市民

ご回答ありがとうございます。実はですね、この間、高出2区の区民の皆様と秋の一斉清掃のお知らせが届きました。この辺の担当するのが1組、4組ということで連絡がきているんですが、体育館、石碑、修繕の清掃、草取りということで、この地区センターの周りのことについては記載がございませんでした。ぜひ大勢の方が利用する場所でもございますので、美観を保っていただけるといいかなというふうに思いますので、よろしくお願

いします。

市長

ありがとうございます。ちょうど11月の9日の日曜日が今、一斉清掃の日ということで、市の方で決めさせていただいて、通知も流れたかと思います。地区センターは市が管理をしているところでございますので、市の方で責任を持ってしっかりときれいにしていきたいと思います。

市民

先にお礼をお伝えしたいんですけど、私は任意団体の活動で心の病気とかを持っている方の支援活動をもう12年ぐらいしているんです。ずっとえんぱーくで毎月一回、当事者ミーティングをさせていただいて、もう13年目になりますけれども、ずっとえんぱーくでは、非常にお世話になっておりまして、特に市民交流センターの職員の皆さんには、かなり無理なことを相談しても、非常に親身になって考えてくださって、いろいろアドバイスをいただいているので、非常に感謝しておりますので、これからもぜひよろしくお願いしたいと思います。

次は地区のことではないんですが、ユニバーサル就労支援に関する条例の制定についてお話ししたいと思います。来年の12月までが期限ということで、目標に条例を制定するというので今進められていると思うんですけども、先日も10月にテレビで、障害者雇用のテレビ番組を市長にも見ていただいて、ますます力を入れていきたいということで感想をいただきまして、非常に心強くなっていうふうに思ったんです。実際どういうふうに進めていくかっていうのをお話聞いた中で、庁内のネットワークで会議を行って進めていくというふうにお話を聞いているんですけども、あと1年というくらいのタイミングになりまして、実際どの程度進捗が進んでいるとか、実際どのようなことが会議で話されているのかっていうところが市民としては非常に伝わってないかなっていうふうに思うところがあります。その参加メンバーの方を聞いたところによると、市の職員の方はもちろんなんですけども、塩尻市にはB型しかないんですけども、その就労支援に関わる事業所の職員であるとか、あるいは障害を持っている当事者とか、そういった方がそのメンバー

に入っていないっていうことを感じていまして、やっぱりその当事者の人の声とか、実際に就労支援にかかわっている人の声ってというのが一番やっぱり聞いてほしいなと思うところがあります。ですので、ぜひそういうメンバーも加えていただきたいなっていうことと、ぜひあと1年足らずですので、どのようなことで行っていて、進捗状況がどんな感じかっていうのをぜひ発信をしていただきたいなと思っています。

私もいろんなところに講演をさせていただくことがあったりして、東御市であるとか、松本の近隣の市町村へも伺うことあるんですけれども、そういったところに塩尻市はこういう条例を制定するんですよってお話をすると、すごいですねっていうことで言っていて、ぜひいろんなことをまた聞かせてくださいっていうふうに、かなり期待されているなっていう印象があります。で、先日も東京の多摩市に10月に伺ったんですけれども、そこではIPS就労支援って言って、細胞の方IPSじゃないんですけれども、就労支援っていうと訓練から始めて就労に結びつくっていう考え方が一般的なんですけども、まず働いてからやってみようっていう考え方がIPSっていう考え方なんです。それを積極的に支援されている方が多摩市の病院にいるもんですから、その方にお会いしたんですけれども、松本市なんかも講演に行ったことあるよって言っていたんですが、ぜひ塩尻市も来てほしいって言ったら、もちろん行きますよっていうふうに言ってくださったので、ぜひそういった講師の方を呼んで、みんなで就労支援に関する取り組みも、職員の方もそうなんですけど、市民も一緒になって勉強していくとか、そういったことも必要ではないかと思っていますので、ぜひそういった場を市の方で主導でやっていただきたいなということで、ぜひお願いしたいなと思っています。

市長

はい、ありがとうございます。普段のうつりカバリーエンジンさんの活動や、またこの前のテレビのニュースも拝見をさせていただきました。さまざまな活動を行っていただいていることに感謝申し上げます。

今どういう取り組みをしているかというのをしっかりとPRしていくようにしていきますし、ユニバーサル就労の関係は市で取り組みも進めていますし、市議会からも要望、提言をいただいております。その進め方というのが、まだどういうふうに進めていくかって

というのは見えてないところあるんですけども、先進地である富士市とか、そういったところのやり方を学んだり、何よりも大事なのは、皆さんを巻き込みながら議論をしていく、そういうことが必要だと思っております。実はB型の事業所のほかにA型も塩尻昨年できまして、今、えんぱ一くの中の掃除とかも、就労支援型の事業所の皆さんのお手伝いをさせていただいて進めているような形であります。やはりAとBの違いは賃金か工賃かでも違いがすごいありますけども、障害をお持ちの方がしっかりと賃金を得られる、そういうところの就労支援につなげていくことは非常に大事だと思っていて、B型事業所のいわゆる工賃の値段を聞いてしまうと、非常に残念な気持ちになってしまう。これでいいのか世の中って思ってしまうような額でありますんで、そういったところ、いわゆる就労でありますので、就労の対価がきちんと求められるような、そういう仕組みづくりをしていきたいと思っています。また、いろいろ情報提供していきますので、今まで培われている知見や今やられたお取り組みの中で感じることをですね、ご意見として頂戴できればと思いますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

市民

市議会の方も千葉とかね、静岡に視察に行かれていると思うんですけども、福祉支援課の方に話をしたり、地域共生推進課の方に話はしているんですけども、非常に身近なところで東御市の社協が素晴らしいことをやっているというお話をよくするんですけども、自立支援事業の中の就労準備支援事業をまいさぽの方でやってるんですけども、そのすごい取り組みが大変素晴らしいと私は思ってます。今回、11月の県社協の冊子にも特集が載っているんですけども、11月に出たばかりなんですけど、ここに東御市の社協のメンバー5人いらっしゃるんですけど、その特集が見開きで2ページに載ってますので、ぜひ読んでいただきたいなというのと、近いですので、ぜひ視察に行ってください、本当にすごい取り組みをしていますし、職員の方もすごい熱意のある方なので、ぜひ行っていただいて参考にさせていただけたらなと思っていますので、よろしくお願いいたします。

市長

ありがとうございます。東御市の方も見に行ったりしながら、さまざまな学びを深めて進めていきたいと思います。ありがとうございました。

市民

私は、猫のボランティアをやっている、マーマレードキャットという団体です。ここでお話を聞いていると、大きなお話がたくさんある中で、猫のお話なんてって感じかもしれないですけど、せっかく皆さん代表の方たちが集まっていっぱいなので、お伝えしたいことがあります。猫の糞尿問題が増えているとか、それで春に畑を耕して柔らかくなると、そこでおしっこウンチをしたくて、猫がみんな掘っちゃって、農家の方たちが怒ってご近所問題が大変勃発したりとか。松本の町会長会議では私の名刺が出回って、町会長さんたちから結構相談が来るんですけど、猫のことですごいご近所問題とか勃発しています。その対策なんですけれども、ここからがとっても大事なことです。何十年にもわたって猫問題を解決するためにはえさやり禁止ということを行政も保健所も言ってきました。でも、餌やり禁止をして全く問題が解決されていません。解決するためには餌をあげて、そこで捕獲してみんな手術する。餌場でしか捕まえないです。餌やり中止すると猫がちっちゃって問題が大きくなります。餌をあげながら私、外猫食堂って言っているんですけど、そこで捕まえて全頭手術する。そうすると、耳にカットをして印を入れて、さくら猫っていうんですけれども、その猫にして新たな手術してない猫が来たら、耳カットを見ればわかりますので、新たな猫はまた捕まえて、そこで手術する。それによってびっくりするほど劇的に減ります。それで、餌やり禁止ってやると、人がゆっくりゆっくり歩いているような速度で解決に向かうかもしれないですけど、外猫食堂でしっかり手術をすることによって、新幹線並の速さで物事が解決していきますので、そのような新たな知識をお願いしたいと思って、市の生活環境課の方にもそういう方針をお願いできたらと思います。

今聞いていたら、もう道路とかごみステーションの調査とか、皆さん素晴らしい大きなことをやっている中で、こんな猫問題って思うかもしれませんが、ニューヨークのジュリアーニ市長が、何十年にもわたって、地下鉄ではものすごい殺人、強盗などの発生率が多くて、どんどんそれが増え続けていた。それが激減したやり方があって、それを皆

さんご存じだと思いますけれども、「割れた窓理論」っていうんですけど。研究者の方が提案して、街で窓が割れていると、そこにゴミが集まり、そこに不良たちが集まって強盗とか殺人が起きるっていう理論なんですけど、その理論に基づいて地下鉄でゴミを拾ったりとか、特に落書きを消したりとか、あと何セントっていう無賃乗車の犯罪者を取り締まって、それで殺人や強盗が起きているのに、1日100円ぐらいの無賃乗車を何十メートルも列ができるぐらいの犯罪者たちを取り締まって、その小さいことをやり続けることによって激減したんです、強盗殺人などが。それなので、さっき草の処理のことについて話してくださった方とか、そういう小さな環境のことをきちんとやっていく、猫の問題をちゃんとするとか、そういう小さなことをやっていくことによって大きな物事が解決していくっていうニューヨークの例がありますので、ぜひお願いできたらと思います。よろしくお願いします。

市長

ありがとうございました。いわゆる猫の問題も、猫の繁殖が早いので増えていってしまいうともう止まらなくなってしまうと、今、全国的にも、猫の管理しきれなくなってしまうと、行き詰まって、それを地域問題に発展していく、そういう事例があらうかと思っています。

いわゆるTNR運動といいますか、耳をカットする、そういう運動の方も今、生活環境課とかと連携をしながら進んでおりますので、猫による、いわゆる地域の問題が起こらないような、そんなこともしっかりと進めていきたいと思っておりますし、保護猫の譲渡会みたいなのも、お店でやったり、さまざまなところで活動をしておりますので、動物の気持ちと、動物も家族の一員のようなものでありますので、しっかりとそういった活動が進むようにしていきたいと思っております。市としましても、地域の中でそういった活動が進んでいくようなところもしっかりと後押しをしていきたいと思っております。ありがとうございました。

皆さんで今、猫とか動物の問題でこう悩みを抱えている方いらっしゃいますか。そこはまだ大丈夫ですかね。はい、わかりました。地域によっては猫が繁殖してしまってきて、所有者との接触がなかなか厳しくなってくる場合があります。それが突然起こるんです

よ、猫の場合は。急激に頭数が増えるので。そういった、今、地域の課題もありますので、ありがとうございました。

市民

いつもお世話になっています。日頃感じているのは、今日のようにタウンミーティング等は設営していただいて、塩尻は市と市民が顔が見える関係が非常に強いなと感じているところなんですけれども、冒頭の方で回答をいただきました区の加入のところで、1点、今後このようにしていってもらえればということをお願いしたいと思います。総合計画のところでも話がありましたけれども、やはり塩尻市の今の柱、福祉を充実させるというのがあるわけで。そんな中で、市から福祉部門、社協部門が私たちの区の会議等に来て、これからは市ではなく市民の皆さんと一緒に福祉、高齢者福祉を進めていくっていう話を再三されているわけなんです。そこでですね、高出地区、さきほど加入率7割という中、この秋にこの間行われた敬老会ありますけれども、市からの名簿では高齢者の名簿が来るんですけれども、そのほとんどが区に加入されている方たちということです。ということは、区の加入率は7割なんですけれども、高齢者を担う区というのは、ほとんどの高齢者が区が担っているということで。そんな中、区の役員というのはご存じの通り2年の任期で皆さん動いています。その中、2年の私たちも1年が終わろうとしているんですが、1年目は訳が分からず、2年目には大多数の役員の人たちはとにかく引き継がれた仕事をやるのが精一杯という中なんです。これからは冒頭の話をしました通り、福祉推進するには、市民と市が一体となってということで、再三、福祉部門・社協の方からも話があるんですが、なかなか難しいのではないかなと。そんな中、区の地域の役員というのは専門性が欠けているところがありまして、2年の任期の中で同じことをやるのが精一杯と。そんな中で専門性も備えたようなところを補填するところをですね、考えていただいて。今、現実としては地域の支所というのが非常に要になっておりますので、今でも助けられているところがありますけれども、その辺も含めまして人材の補填というのをぜひお願いをしていきたいと。インフラ整備とか防災面については市にお願いするということなんですけれども、福祉でいうところを地域・区が利用して進めているということになれば、その辺を考慮していただければと思います。

市長

貴重なご意見ありがとうございます。1点お詫びをしなければならないんですけども、区長さんの仕事をご指摘のとおり、すぐ過ぎていってしまうということで、なかなか区長さんの仕事自体が見えにくいところもありまして、地域支援コーディネーターというのを設置しまして、コーディネーターが区長さんたちを引っ張っていくように取り組みを一度、吉田地区で始めました。けれども、コーディネーターがいてもうまくコーディネートをするのが非常に難しい状況でございました。リトライをしなければならないと思いますが、伴走支援する方、その時は区の役員の仕事を減らすとか、区の効率化をどうするかというところの視点で言ったんですけども、今度は福祉という入り口の中から、区長さんたちが担う、いわゆる福祉の仕事も結構増えてきておりますので、そういったところが軽減できるような仕組みは考えていかなければならないと思っています。

今、全世代対応型支援体制ということではこうやって言えるんですけども、これを構築していくのは非常に難しいことであって、正直やればやるほどどんどんこうやるのが、区長さんたちとかの区の役員さんとか民生児童委員さんのやることが増えていってしまうので、そこを増やさずに、誰かがいて担う。そういうのをこの中でもマネージャーみたいなのを置いて地域でまとめていく、そんな仕組みでやっていきますので、うまく機能させていきたいと思っております。ありがとうございます。

市民

防災訓練のことです。防災訓練は毎年やっていますけども、防災訓練はどこの区でもそうなんですけど、2年単位で役員さんが主にやっているんで、どうしても途切れちゃうんですよね。今回は5区の方は、ぜひとも防災士になりたいという方がいまして、防災士になってその方に加わってもらって長期にできるんですよね。そういう体制をやはりつくっていただかないと、2年ですと言っておられた通り、1年目がわからなくて、2年目もまた変わっちゃうもんですから、長い目で見ていただく防災士みたいな方を増やしていただいてです。一緒に防災訓練で防災っていうと加わっていただくと非常に心強いと思うんですけど。

市長

はい、ありがとうございます。今、実は防災士の資格を取る方が増えておりまして、この前の9月議会でも防災士さんのネットワークを作ってもらえないかと、そんなお話もありましたので、しっかりそういった防災士の皆さんが資格を活かして地域に貢献できるような仕組みを作っていきたいと思っております。ありがとうございます。

市民

ここで言っているのかわからないんですけど、消防の1日と15日になるあのサイレンは、あれはどこで相談したらいいんでしょうね。引っ越して11年になるんですけど、もう毎回心臓が躍るほどです。その周りの方たちは赤ちゃんがいたりとか、あとペットとか、どうやって過ごしてきたのかなってとても疑問に思っていて。じゃあその消防の方たちに感謝してないかっていうと、全然そうじゃなくて、集まっているのを見る度にありがたいなと思って感謝しているんですけど、あの音だけがもうどうにももう無理で。

それで他のところでもたくさんなっていると思うんですけど、そこら辺でアンケートでも取ったりして、なんとか皆さんどう思っているか、なんとならないかなっていう気持ちがあるんです。

市長

はい、わかります。消防のサイレンですけども、1日と25日のちょうど午後8時の時間に鳴らしておりますので、今、生活もライフスタイルも多様化していて、この時間お休みされて夜の仕事に備えている方とかもいらっしゃいますので、そういう声があったことを危機管理課と調整をしながら、より良い方向性をちょっと決めていきたいと思っております。消防団の活動にご理解をいただきましてありがとうございます。今、消防団も危機的な状況に陥っておりますので、あと防災面はやはり啓発の必要でありますので、ある程度ご理解をいただきながら、そういう声があったことも承知をしていきたいと思います。ありがとうございます。

ではお時間になりました。今日までのタウンミーティングを開催いたしましたところ、

さまざまなご意見を頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。私ども、高出地区が先ほどから地域の特性をお話いたしましたけれども、高出地区が伸びていくと、そのシヤワー効果ですね、市の全体が伸びていく、そういう地域だと思っております。

私ども、いわゆる大門と広丘という形で二眼レフでのまちづくりというのを進めてきておりますが、ちょうどそこの2つの間をつなぐところが高出でありますので、またさまざまな課題をいただきましたので、しっかりと解決策を見出しながら、高出地区の発展のためにも全力を尽くしてまいりたいと思っています。私、この前ふれあいまつりも、ちょっと今年の敬老会は予定があって行けなかったんですけれども、こども食堂をやったり、さまざまなところに顔を出していきますので、ぜひとも市長、市長って声をかけてもらって、そういうところでも、「こんな風に感じているんだけど、どうだい。」みたいな、そんなお声がけをいただきながら、市民の皆様と対話をしながら、しっかりと市政を進めたいと思いますので、引き続きのご協力をよろしくお願いをいたします。本日はどうもありがとうございました。